

○黒滝村総合戦略 平成29年度末基本目標別進捗率 集計表

	事業数	外部有識者からの評価	
		効果 有	効果 無
基本目標1 働きたくなる村づくり	12	10	2
基本目標2 住みよい村づくり	45	41	4
基本目標3 訪れたくなる村づくり	11	9	2
合計	68	60	8

※重要事業評価指標（KPI）の効果検証方法について

①目安値（平成29年度）に対する実績値（平成29年度末）の進捗率により検証

$$\text{進捗率} = \frac{\text{実績値}}{\text{目安値}} \times 100 (\%)$$

※実績値は基準値（平成27年度）からの累計値（平成29年度末）

※目安値は各事業の平成29年度の目標値（平成29年度予算要求時または事業着手時に設定する目標値）

②自己評価は実績値と目安値または進捗率との差分を以下の基準により判断

- A 予定を上回る
- B 予定どおり
- C 予定を下回る

○効果検証会議開催日時:平成30年8月21日(火)、場所:黒滝村役場

検証者:黒滝村総合戦略策定委員(外部有識者)計10名

黒滝村総合戦略(平成28・29年度分)効果検証シート

節項番号	具体的施策	施策概要	重要事業評価指標(KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目安値)	自己評価 (ABC)	実績値を踏まえた事業の今後について	担当課	外部有識者評価
				年度	数値								
1-1-1	林業労働力の確保・育成	林業への就業を希望する求職者に対し、本格的な就業、地域定着を目的として、森林整備の担い手を確保・組織化して必要な専門的技能・技術を習得させる実地研修等を実施します。	山活隊(やまいきたい)雇用者数	H27	8人	13人	10人	14人	71%	C	早期退職防止のため、募集方法の見直しを行い、適性を考慮して採用を行います。	林業建設課	効果有
			林業に関する情報を発信した映像本数	H27	1本	5本	1本	3本	33%	C	移住定住と連携した映像制作を進めます。	林業建設課	効果有
1-1-2	生産性の高い林業の推進と山村の振興	作業現場への巡回指導・救助訓練、振動障害予防対策の促進、伐倒条件の相違に対応した伐木作業技術の現地研修会等についての事業を実施し、労働災害を防止するための最新の技術等を取り入れた機械・器具等を装備し、万全の安全対策を講じます。	林野1ha当たり林道延長(m)	H25	8.2m	4.994m	4.974m	4.996m	100%	B	数値精査の結果、基準値の設定に誤りがあり、林道総延長/林野総面積で再度計算の結果、H25基準値が4.994mとして修正を行います。(林野総面積増加のため、H29実績値が減少しています。)なお、林業担い手育成強化事業(年4,200千円)により森林組合作業班の福利厚生研修助成事業を実施しています。	林業建設課	効果有
1-2-1	農業の振興	自立経営の確立を目指し、地区ごとの実情や村の地形的条件にあわせた強くたくましい農業づくりを進めます。	農業への新規従事者数	H27	0人	3人	5人	3人	100%	A	新規従事者が継続して農業に従事できるようバックアップを図り、自立経営を目指します。	企画政策課	効果有
1-2-2	商工業の振興	吉野杉透かし彫りや杉の葉染め、水組み工芸品、木材加工品等、村産材を利用した木工商品の新たな開発、商品の販路拡大を支援すると共に、移住定住を希望する者等への就業の場の確保に取り組みます。	地域おこし協力隊員数	H27	0人	3人	3人	3人	100%	B	H31に3名が任期満了となるため、活動内容及び雇用条件等を精査し、新たに3名を募集します。なお、任期満了後、習得した経験を活かして関係先での雇用に結びつくような施策を展開します。	企画政策課	効果有
			新たな商品開発件数	H27	0件	1件	1件	1件	1件	100%	B	木の玉1個売りを開発。東京ときのもりリブレ、カフェくるみの木等での販売を今後も継続します。	企画政策課

黒滝村総合戦略(平成28・29年度分)効果検証シート

節項番号	具体的施策	施策概要	重要事業評価指標(KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目安値)	自己評価 (ABC)	実績値を踏まえた事業の今後について	担当課	外部有識者評価
				年度	数値								
1-2-3	シニア世代保有技術の活用・就労支援	高齢者の保有する知識や経験を地域貢献に活かすとともに、人口の半数を占めるシニアが健康で生きがいのある生活を送り続ける支援を行います。	特産加工品奨励数	H27	1品目	6品目	3品目	3品目	100%	B	食の6次産業化プロジェクトチームが白きゅうり漬物・びくるす・ベジクッキーを開発し販売中。今後も新商品の開発と販路開拓を継続します。	企画政策課	効果有
1-2-4	6次産業の充実強化	農山村における所得の向上、収益性の改善、雇用の確保に結びつけ、農林業の発展と農山村の活性化を推進し、商品開発戦略、価格戦略、販売戦略とマーケティングの一貫した戦略活動を展開します。	特産品加工所の整備箇所数	H27	0カ所	1カ所	1カ所	1カ所	100%	B	H30年度中に加工所施設の更なる充実と機器整備を行う予定です。	企画政策課	効果有
1-2-5	起業家への支援の充実	村内に存在する資源等を活用し、新規に事業を起こす人に対し支援を行うことにより、就労の機会を整備します。	新規起業家数	H27	0人	1人	0人	0人	0%	C	新規事業を起こす人材を見つけることが困難なため、卒業した地域おこし協力隊員の村内定住を促し、起業支援を行います。	企画政策課	効果無
			起業支援件数	H27	0件	1件	0件	0件	0%	C		企画政策課	効果無
1-2-6	女性の視点を活かした事業の推進	生産性の向上と販売手法により発展性が見込まれる事業について、現在の市場のニーズの把握や新たな販売促進を提案し、販路開拓等、新たな事業を推進します	販売促進提案件数	H27	0件	5件	2件	3件	66%	C	事業を推進する担い手不足の状況にあることから、今後、女子職員会と連携し、女性の視点からの提案等を行います。	企画政策課	効果有
			販路開拓を行う取り組み支援件数	H27	0件	3件	2件	2件	100%	B		企画政策課	効果有
2-1-1	教育の経済的負担の軽減	保護者の負担を考慮し、教育に必要な経済的支援の充実を図り、就学・学習機会の均等を確保します。また、村外で通学の拠点を検討します。	高等学校等自宅通学補助対象者数	H27	9人	9人	8人	9人	89%	B	今後も事業を継続実施します。	教育委員会	効果有
			修学奨励金貸与者数	H27	0人	3人	0人	1人	0%	C	周知徹底を図り、今後も事業を継続実施します。	教育委員会	効果無
2-1-2	健やかな成長の支援	木で遊び、楽しさや喜びを実感し、それが私たちの暮らしを支える地域や社会、産業への関心へとつながるような人づくりに努めます。	木製おもちゃで遊ぶ子ども園の乳幼児	H27	1人	こども園の乳幼児数	2人	2人	100%	B	こども園入園者へ入園祝いとして木製おもちゃの贈呈を継続します。	教育委員会・保健福祉課	効果有

黒滝村総合戦略(平成28・29年度分)効果検証シート

節項番号	具体的施策	施策概要	重要事業評価指標(KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目安値)	自己評価 (ABC)	実績値を踏まえた事業の今後について	担当課	外部有識者評価
				年度	数値								
2-1-3	子どもを産み育てるサポート体制の充実	子どもと親の健康保持増進をめざした取組に努めます。	母子保健指導開催数	H27	4回	4回	4回	4回	100%	B	内容の充実を図りながら、今後も事業を継続実施します。	保健福祉課	効果有
2-1-4	子育て世帯への支援の充実	地域の子育て支援の充実をめざして、子育て支援の人材確保や資質向上をめざした取組に努めます。	幼稚園児・保育園児以外のこども園利用者数	H26	延363件	延420件	延162件	延400件	40.5%	C	全ての利用申請に対応可能な体制を整備済みです。利用者数は減少していますが、一時預かりの柔軟な対応や、研修等を通じて職員のスキルアップを図り職員の対応力の向上に努めます。	教育委員会・保健福祉課	効果有
			研修参加時の代替職員の確保	H27	2人	3人	2人	2人	100%	B	継続実施に努めます。	教育委員会・保健福祉課	効果有
2-2-1	こども園の充実	豊かな感性と人を思いやれる優しさ、我慢強くがんばれる強い心をもった子どもの育成を目指します。	在園幼児数	H27	8人	8人	10人	8人	100%	A	継続実施に努めます。	教育委員会・保健福祉課	効果有
2-2-2	放課後対策の推進	地域の特性に鑑み、放課後も児童が生き生きと活動できる安全・安心な場の確保をします。	放課後児童クラブの一時預り利用者数	H27	5人	5人	平均 3人/月	5人	60%	C	全ての利用申請に対応可能な体制を整備済みです。利用者数は減少していますが、児童に合わせたきめ細かな対応を行い、対応力の向上に努めます。	教育委員会・保健福祉課	効果有
2-3-1	学びあい生きがいの持てる地域社会の構築	村民の自主的な学習や交流の機会を提供し、誰もが学習できる環境整備に努めます。	生涯学習団体数	H27	2団体	3団体	2団体	2団体	100%	B	公民館教室修了後も、自主継続できるように環境整備に努めます。	教育委員会	効果有
			教室参加者数	H26	213人	250人	263人	213人	100%	A	多世代で参加しやすい教室づくりに努めます。	教育委員会	効果有
			文化祭出品者数	H27	45人	50人	51人	45人	100%	A	自主学習や多世代交流の機会として、充実発展を図ります。	教育委員会	効果有

黒滝村総合戦略(平成28・29年度分)効果検証シート

節項番号	具体的施策	施策概要	重要事業評価指標(KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目安値)	自己評価 (ABC)	実績値を踏まえた事業の今後について	担当課	外部有識者評価
				年度	数値								
2-4-1	健康寿命の延伸をめざして、健康的な生活習慣の普及や疾病の早期発見	診療所と連携したたばこ対策及び減塩や野菜摂取促進、がん検診の普及啓発や受診率向上にむけた取組に努めます。	健康寿命(平均自立期間)	H24	男15.56年 女24.36年	延伸	(H27) 男20.41年 女20.24年	男17年 女25年	男100% 女81.0%	男A 女C	施策に加え、女性の健康寿命延伸のため、健康教室の受講勧奨を積極的に行います。	保健福祉課	効果有
2-4-2	特定健診や介護予防などに取り組む人を増やすことによる要介護状態になる人の減少	データヘルス計画の策定や特定健診受診率の向上の取組、特定保健指導の実施に努めます。また、介護予防と連携した歯科口腔保健の取組に努めます。	特定健診受診率	H26	36.4%	60.0%	33.3%	60%	56%	C	受診率向上のため、受診勧奨を積極的に行い、目標値達成を目指します。	保健福祉課	効果有
			特定保健指導利用率	H26	63.6%	60.0%	43.0%	60%	72%	C	今年度までの受診実績を除いた残り28%の利用を目指し、今後も制度の周知、啓発を強化します。	保健福祉課	効果有
2-5-1	医療の確保と充実	緊急時や専門的・高度な医療を要する場合に適切に対応できるような体制の整備を図ります。	医療情報ネットワークに参加する医療機関数	H27	1医療機関	4医療機関	4医療機関	4医療機関	100%	B	継続実施に努めます。	保健福祉課	効果有
			歯科医師数	H27	1人	1人	1人	1人	100%	B	継続実施に努めます。	保健福祉課	効果有
			へき地巡回診療の年間利用回数	H27	1回	1回	1回	1回	100%	B	継続実施に努めます。	保健福祉課	効果有
2-5-2	在宅医療の充実	在宅生活を継続できる体制づくりを図ります。	訪問看護における医療支援件数	H27	4回	延伸	4.5回	4回	100%	A	継続実施に努めます。	保健福祉課	効果有
2-6-1	地域福祉の充実	地域で支えあう意識を高め、自助・共助・公助による福祉活動を推進していくため、集いや相談の機能を目指した自主グループ活動の推進及び担い手の確保や育成にむけ関係機関との連携に努めます。	住民運営の場の自主グループ	H26	1グループ	6グループ	5グループ	5グループ	100%	B	継続支援に努めます。	保健福祉課	効果有
			ポイント手帳利用者	H27	58人	137人	110人	120人	92.0%	B	周知、啓発を強化し、目標値達成を目指します。	保健福祉課	効果有
			連携会議の開催	H27	0回	年2回	0回	年2回	0%	C	H30.4より開催中です。1回/月	保健福祉課	効果有

黒滝村総合戦略(平成28・29年度分)効果検証シート

節項番号	具体的施策	施策概要	重要事業評価指標(KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目安値)	自己評価 (ABC)	実績値を踏まえた事業の今後について	担当課	外部有識者評価
				年度	数値								
2-6-2	障害者支援の充実	生活のしづらさの支援にむけて、相談の機会の充実をはかります。	相談支援利用者	H26	17人	25人	6人	21人	29%	C	H26は希望者のみ家庭訪問を実施しましたが、その後、継続した利用者が少なかったため、今後も制度の周知を続け、相談対応可能な体制を整えます。	保健福祉課	効果有
2-6-3	高齢者支援の充実	高齢者が暮らしやすいむらづくりを目指して、移手段の充実、医療・介護連携の推進、認知症の人と家族にやさしい地域づくりの推進、地域包括ケアシステムの構築にむけた取組に努めます。	黒滝村総人口に占める認知症サポーターの割合	H27	0%	3%	9.40%	3%	100%	A	継続実施に努めます。	保健福祉課	効果有
			地域ケア会議	H26	0回	6回	0回	6回	0%	C	H30.4より開催中です。1回/2ヶ月	保健福祉課	効果有
2-7-1	生涯スポーツの推進	村民がいつでも誰もが気軽にスポーツやレクリエーションに親しむ環境整備を行います。	生涯スポーツ事業参加者数	H26	280人	350人	381人	280人	100%	A	多世代で参加しやすい環境づくりに努めます。	教育委員会	効果有
			生涯スポーツ団体数	H27	4団体	5団体	4団体	4団体	100%	B	新たなスポーツに取り組む機会を増やし、自主継続につながる環境づくりに努めます。	教育委員会	効果有
2-8-1	防災体制・設備の強化	避難のあり方や避難所の整備、自主防災組織の育成、孤立集落対策、土砂災害防止対策などを総合的に進め、各個人の平時からの備えにつながるような施策を推進します。	消防団員数	H27	123人	130人	120人	120人	100%	B	減少傾向にあり、現状の団員数維持に努めます。	総務課	効果有
			自主防災組織数	H27	12団体	12団体	12団体	12団体	100%	B	避難訓練などの住民参加や防災啓発を通じて、防災意識を高めていきます。	総務課	効果有
			防災Wi-Fi設置数	H27	0基	8基	5基	5基	100%	B	保守経費の関係上、費用対効果を検討の結果、現状数維持に努めます。	総務課	効果有
2-8-2	災害防止対策の推進	住民に対する災害危険箇所の周知啓発や防災情報の普及啓発等のソフト対策を推進します。	災害への高い危機意識を持っている人の割合	H26	51%	70%	0	0	0%	C	国県の災害対策に沿って啓発を継続し、H31にアンケートを実施します。	総務課	効果無

黒滝村総合戦略(平成28・29年度分)効果検証シート

節項番号	具体的施策	施策概要	重要事業評価指標(KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目安値)	自己評価 (ABC)	実績値を踏まえた事業の今後について	担当課	外部有識者評価
				年度	数値								
2-8-3	災害時応急体制の整備	各機関・組織の連携体制を確立し、災害発生時に各機関・組織がそれぞれの役割をスムーズに担うことが可能となるような体制の構築を推進します。また、避難準備情報・避難勧告・避難指示へとスムーズに移行が可能となるよう基準を調査整備し、健全者から要配慮者までスムーズに避難が完了し避難生活ができる体制の構築を図ります。	防災行政無線等整備率	H27	100%	100%	100%	100%	100%	B	H29に各戸の戸別受信機を無線形式から有線形式に変更し、全戸整備を完了しました。引き続き、屋外拡声子局の有線化を実施します。	総務課	効果有
			災害時要援護者の個別支援計画	H27	0%	100%	0	0	0%	C	H29に要支援者避難支援プランを策定しました。引き続き、個別の要支援者リスト及び計画の作成及び更新を行います。	総務課	効果有
2-8-4	安心して生活できる環境づくり	地域の防犯力の強化と高齢者・子どもをはじめ住民が安心して暮らせる地域づくり、犯罪の起こりにくい環境づくりのため、また、警察との連携、情報提供等被害解明にも役立てるため、防犯カメラを設置し犯罪を抑止します。	防犯カメラ設置箇所数	H27	0カ所	3カ所	2カ所	2カ所	100%	B	防災Wi-Fiのカメラを防犯用として計上しています。保守経費も必要であることから現状維持で進めます。	総務課	効果有
			防犯カメラ表示板設置箇所数	H27	0カ所	6カ所	4カ所	4カ所	100%	B	防災Wi-Fiのカメラ設置場所の表示板数を計上しています。表示板数についても現状維持で進めます。	総務課	効果有
			村内設置防犯灯(街灯)のLED灯化数	H27	0カ所	村内100カ所更新	26箇所	52箇所	50%	C	順次更新を進めます。	総務課	効果有
2-9-1	豊かな自然環境の保護	災害で失われた山と川の環境を元の姿に戻し、黒滝村の豊かな自然生態系を守ります。	体験事業の開催	H27	0回	年1回	年2回	年1回	100%	A	体験事業数やメニューの増加を検討します。	企画政策課・林業建設課	効果有
2-10-1	水道水の安定供給や施設の機能維持	水道水の安定供給の為、水道施設の適正な保守管理による延命化(特に鉛製給水管の敷設替え)を図り、安全な水道水を確保すると共に、飲水施設や簡水施設の統廃合などを行い、ライフサイクルコストの低減を図ります。	有収率	H25	80.4	83.3	45.9	50	92%	B	H28事業で施設再整備を行い、水道給水量を再計測した結果、有収率39.5となりましたが、H29事業により45.9まで回復しました。今後も漏水調査を進め、有収率の回復に努めます。	林業建設課	効果有

黒滝村総合戦略(平成28・29年度分)効果検証シート

節項番号	具体的施策	施策概要	重要事業評価指標(KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目安値)	自己評価 (ABC)	実績値を踏まえた事業の今後について	担当課	外部有識者評価
				年度	数値								
2-10-2	橋梁・トンネルの老朽化対策の推進	道路・橋梁・トンネルなど、インフラの老朽化に伴い、低いコストで安全性を確保できるよう、長期的視点に立った計画的・体系的な点検及び補修を実施します。	橋梁定期点検箇所数	H27	22橋	122橋	80橋	80橋	100%	B	点検箇所数の再精査を行い、木橋等を対象外として計画を変更し、89橋を最終目標値として再設定し、H30事業で完了を目指します。	林業建設課	効果有
			トンネル定期点検箇所数	H27	0カ所	3カ所	0	0	0%	C	H30事業において、点検委託料9,000千円を計上し、3カ所の実施を予定しています。	林業建設課	効果有
2-10-3	ごみ処理の安定・継続処理を確保するための施設整備	「3R推進(リデュース、リユース、リサイクル)」によるごみの減量と有効活用を図ります。	年間ごみ排出量	H26	135.98t	121.00t	211t	198t	93%	C	ごみの分別徹底と減量の啓発に努めます。観光事業ごみの減量について検討します。	住民生活課	効果無
2-10-4	合併浄化槽設置及び維持管理	今後も水質を保全するため、合併浄化槽の設置及び管理を行い、同時に老朽化している合併浄化槽の改修を行います。	合併処理浄化槽整備率	H27	83.8%	86.3%	84.8%	85%	99%	B	戸別328基、小規模集合3基を整備済みです。人口減少に伴い整備箇所は減少していますが、引き続き整備を進め、水質保全に努めます。	林業建設課	効果有
2-10-5	村営住宅の整備	移住定住と連携を図りながら、大規模造成ではなく自然の地形、環境に配慮した村営住宅の整備を推進します。	村営住宅整備	H27	28戸	43戸	33戸	34戸	97%	B	単身者用の集合住宅の整備及び県道拡幅工事による立ち退き対象者への代替え住宅の整備を検討します。	林業建設課	効果有
2-11-1	過疎集落支援対策の推進	村民同士のコミュニケーションを図り、高齢者を支えていく地域コミュニティの形成を支援します。	地域づくり協議会の設置	H27	0団体	1団体	0	0	0%	C	過疎集落対策の基礎資料として集落点検をH30.2に実施済みです。今後は地区別懇談会及び視察研修及び地区担当職員制度の創設等を通じて、協議会の設立を目指します。	企画政策課	効果無
			地域内サークルへの補助	H27	1団体	3団体	1団体	2団体	50%	C	各地域のサロン等に保健福祉課と連携して協議を行います。	企画政策課	効果有
			集落周辺の環境整備	H27	年間20カ所	合計100カ所	62カ所	60カ所	100%	A	地元要望も毎年一定数があり、効果も高いことから、今後も継続実施します。	林業建設課	効果有

黒滝村総合戦略(平成28・29年度分)効果検証シート

節項番号	具体的施策	施策概要	重要事業評価指標(KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目安値)	自己評価 (ABC)	実績値を踏まえた事業の今後について	担当課	外部有識者評価
				年度	数値								
3-1-1	地域資源を活かした観光の振興	観光施設を観光拠点施設として位置づけ、自然とのふれあいの中で楽しむことができる滞在型の観光レクリエーションの場として入り込み客の増加を図ります。	新たな交流により増加する観光客入込客数	H27	年間 92,000人	年間 120,000人	年間 230,000人	年間 108,000人	100%	A	今後も事業の進捗を管理していきます。	企画政策課	効果有
			宿泊客数	H27	年間 4,500人	年間 5,500人	年間 9,000人	年間 5,100人	100%	A	今後も事業の進捗を管理していきます。	企画政策課	効果有
3-1-2	交流人口の拡大	村内交流人口の増をはじめ、新たな人の繋がりを拡大させます。	村内交流人口	H27	年間50人	延べ年間500人	延べ年間518人	延べ年間320人	100%	A	国民文化祭・サマーフェスティバル・すずかけの道ツアー等を開催支援を行い、交流人口拡大に努めます。	企画政策課	効果有
3-1-3	文化財の保護の推進	文化財の保全と保護に努めるとともに、住民と行政が一体となった保全活動の推進と情報発信を行い、保全機運を醸成します。	民俗資料館来館者数	H26	100人	150人	491人	130人	100%	A	たるまるカフェ・クリスマスイルミネーション等を開催し、併せて施設整備等を行い、来館者数増加に努めます。	教育委員会・企画政策課	効果有
3-2-1	移住・定住の促進	仕事と住居をセットで提供し既存のコミュニティーが維持できるよう人口増加を促進します。	移住・定住世帯数	H27	1世帯	15世帯	16世帯	9世帯	100%	A	村営住宅新設と地域おこし協力隊員が増加要因であることから、ニーズに応じた住宅の整備を進めます。	企画政策課	効果有
			仕事と住居を紹介するツアーの開催数	H27	0回	年間2回	0回	0回	0%	C	他市町村の先行事例を見ながら検討します。	企画政策課	効果無
			移住・定住の窓口となる団体数	H27	0団体	1団体	0団体	0団体	0%	C	地域おこし協力隊や女子会等と協力し、団体設立を目指します。	企画政策課	効果無
			移住・定住の情報を発信した映像本数	H27	1本	10本	1本	6本	16%	C	林業従事の地域おこし協力隊員にスポットを当て、仕事と生活を紹介する映像を製作します。	企画政策課	効果有
3-2-2	空き家対策の推進	空き家台帳を整備し、所有者等に対し積極的な空き家情報バンクへの登録を呼びかけます。	空き家情報バンク登録数	H27	8戸	25戸	15戸	20戸	75%	C	空き家セミナーや村広報紙等で周知を行い、空き家バンク制度の普及を図ります。	企画政策課	効果有
			体験住宅の整備数	H27	0戸	1戸	0戸	0戸	0%	C	H30事業により体験住宅1戸を整備する予定です。	企画政策課	効果有
			移住者が集う場所の設置数	H27	0戸	1戸	0戸	0戸	0%	C	H30事業により旧中学校施設内に整備する予定です。	企画政策課	効果有

○地方創生交付金事業(平成28・29年度実施分)効果検証シート

節項 番号	交付対象事業 の名称	施策概要	重要事業評価 指標 (KPI)	基準値		H31 目標値	H29 実績値	H29 目安値	進捗率 (実績値/目 安値)	自己 評価 (ABC)	実績値を踏まえた事 業の今後について	担当課	外部有識者
				年度	数値								評価
1	平成27年度 地方創生加速 化交付金 「黒滝・森物語 村」を活用した 地域間交流・情 報発信拠点機 能の充実・強化 事業	村の観光拠点である黒滝森 物語村において、村民主導 の情報発信を行うための体制 を構築し、魅力あるコンテン ツを検討し、情報発信する。 ・ホームページ開設(リニュー アル) 2,000千円 ・情報発信スペースの整備 (壁面改修) 930千円 (平成28年5月末事業完了)	観光客入込客 数	H26	92,000人	120,000 人	263,644 人	200,000 人	100%	A	今後も事業の進捗管理を 行います	企画政策 課	効果 有
			宿泊客数	H26	4,500人	5,500人	10,276人	9,000人	100%	A	今後も事業の進捗管理を 行います	企画政策 課	効果 有
			株式会社黒滝 森物語村正社 員数	H26	7人	7人	9人	9人	100%	A	今後も事業の進捗管理を 行います	企画政策 課	効果 有
2	平成29年度 地方創生推進 交付金 「食」を通した 地域活性化～ 黒滝わくもりプロ ジェクト～	村民中心で結成した食の6次 産業化プロジェクトチーム 「ねえのごっつお」が、黒滝白 きゅうりを中心とした季節野菜 の特産品の開発・普及から加 工・販売を手がけ、農業を中 心とした地域振興を目指しま す。 ・試験営業経費(賃金)2,170 千円(交付金1,085千円、 H29.6～H30.3)	6次産業事業売 上(千円)	H28	0	3,000千 円	815千円	700千円	100%	A	計画期間終了後の自立を 目指し支援します。	企画政策 課	効果 有
			黒滝白きゅうり生 産量(t)	H28	0.6t	4.2t	1.27t	1.2t	100%	A	今後も事業の進捗管理を 行います	企画政策 課	効果 有
			黒滝白きゅうり生 産農家(戸)	H28	41戸	46戸	38戸	45戸	84%	C	H30年5月末現在45戸で す。H31年度での目標達 成を目指して、普及拡大 に努めます。	企画政策 課	効果 有